

ウトロ海域における取組の進捗状況について

トピック

1. 知床ウトロ海域環境保全協議会の取り組みとして、7月22日～31日までを海鳥WEEKと設定し、各種イベントを実施した。
2. 協議会の自立化（安定運営）、海域観光の充実、海域観光のエコツアー化（収益の環境保全への還元）、野生動物と人との適正な関係の幅広い周知等を目的として、知床海のハンドブック（ウトロ版）の製作を進めている。

1. ウトロ海域部会の開催状況

- ・平成24年10月23日にウトロ海域部会を開催した際に、地域を主体とした協働型の実行組織に活動の軸を移すことを確認しており、今年度の開催は行っていない。

2. 知床ウトロ海域環境保全協議会の開催状況

●第2回協議会：平成25年9月9日

- ・今年度の事業スケジュールと活動の中間報告を行った。
- ・協議会の当面の課題、役割分担等を整理し、将来的な方向性についての検討を行った。
- ・希少種であるケイマフリを観光資源化し、見て守ることを通して、関係者がつながり、さらにWin-Winの関係を築くことを知床スタイルとして定め、これらを明文化し、打ち出していくことの重要性が改めて確認された。

3. 協議会の主な活動内容

- ・平成25年6月から9月にかけて、専門家による海鳥の生息状況調査及び繁殖調査を実施した。
- ・知床観光船おーろらにより、5月から7月の運行時に見られる海鳥の観察記録を実施した。
- ・「海鳥WEEK」と銘打ち、7月22日～31日の期間中、ホテルや観光船で海鳥の専門家が解説を行う「うみどりトーク」、夕暮れの時間帯に出航する「サンセットクルーズ」及び絶滅危惧種ケイマフリの生態をわかりやすく伝える「ケイマフリ写真展」を集中的に開催した。
- ・協議会の自立化（安定運営）、海域観光の充実、海域観光のエコツアー化（収益の環境保全への還元）、野生動物と人との適正な関係の幅広い周知等を目的として、知床海のハンドブック（ウトロ版）の製作を進めている。